

令和3年度 第2回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和3年11月25日(木)  
午後1時54分～2時52分  
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、岩田 知子、吉田 策男、小久保 規与子、桑山 桂子、月村 正、  
山森 尚代  
欠席委員 内田 英伸、林 茂夫、渡辺 和彦  
事務局 岩間経済環境部長、林資源対策課長、別府主幹、大平主幹、  
加藤主査、野村主任  
オブザーバー 吉川環境施設課長、糸田環境保全課長

<午後1時54分> ●開会

課長 本日は、ご多忙のところ当審議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。この会の  
進行を務めさせていただく資源対策課長の林昌弘です。よろしくお願いいたします。

審議会の開会に先立ち、事前に送付させていただきました資料につきまして、誤りがござ  
いましたので、お詫びいたしますとともに、訂正をお願いいたします。1点目、議事次  
第右上の場所の欄が空白となっております。正しくは、環境センター2階大会議室でござ  
います。2点目、資料2-2「稲沢市分別収集計画(第9期)新旧対照表」について、  
新と旧の表記が入れ違いになっておりました。正しくは、表の左側が旧、右側が新となり  
ます。3点目、資料4「民間資源回収場所における回収量等調査」について、下段説明文  
を訂正いたしました。資料2-2及び資料4につきましては、机上に正しい資料を配布さ  
せていただきましたので、お手数ですが差し替えをお願いいたします。誠に申し訳ござい  
ませんでした。

それでは、審議に入らせていただきます。最初に、本日の出席は10名の委員中、7名  
の出席をいただいております。稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第3項の規定により、  
委員の過半数の出席がありますので、本会議が成立することをご報告いたします。

課長 続きまして、経済環境部長の岩間福幸から、ごあいさつ申し上げます。

部長 (あいさつ)

課長 ここからの議事の進行は、稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第3項の規定によ  
り、会長の足立様をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長 (あいさつ)

<午後2時04分> ●議題1「令和3年度のごみ処理状況について」

会長 それでは議題1「令和3年度のごみ処理状況について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。説明の際は、項目ごとに区切って説明してください。

事務局 <説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

<午後2時09分> ●議題2「稲沢市分別収集計画について」

会長 次に、議題2「稲沢市分別収集計画について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

<午後2時17分> ●議題3「その他」

会長 次に、議題3「その他」ですが、事務局から報告はありますか。

事務局 <「フードドライブ」「民間資源回収場所における回収量等調査」、「災害廃棄物仮置場設置訓練」、「豊橋市及び田原市の先進事例」の4点について報告>

会長 このこと、また、全体を通して、委員の皆さまから何かご意見はございませんか。

吉田委員 本日説明をお聞きして、稲沢市も前に進んでいるなということを感じました。  
フードドライブについて、今回大きな成果をあげられています。今後の課題のようなものはありますか。

仮置場設置訓練については、多くの課題があったということでしたが、まず課題を見つけたということが重要なことと思います。

また、冒頭のごあいさつで先日火災事故が発生したということでしたが、どういった火災事故であったかお聞かせください。

事務局 フードドライブの課題としては、集まる食品の量が増えていることで、NPO法人への運搬が困難になりつつあるということがございます。嬉しい悲鳴ではありますが、集まっ

た食品の取扱いについては、今後検討していかなければならない課題だと認識しております。

会長 フードドライブを期間限定ではなく、常設として実施していくことは困難でしょうか。

事務局 常設に近い形で実施している自治体もあり、検討には上がっているところではありますが、実現については未定です。

環境施設 先日の火災事故について、説明させていただきます。

課長 火災は11月9日（火）午前11時30分頃に可燃ピットで発生しました。原因は不明ですが、不燃ごみを破砕してから可燃ピットに投入する過程の中で、加熱された金属や発火性危険物が混入した可能性があります。

職員がすぐに気づいて放水しましたが、煙がひどく、火元が目視できなかったため、消防署に通報した次第です。消防の到着時点では、ほぼ落ち着いており、午前12時45分頃に鎮火しました。

一昨年の火災事故を受けて、手選別による分別を実施していますが、まだまだ不十分であると感じております。発火の危険があるごみについては、今後可能な限り排除できるよう努めてまいります。

月村委員 令和3年度のごみ処理状況の説明の中で、コロナ禍以前の令和元年度と比較している部分がありましたが、具体的にどのような数値だったかお聞かせください。

また、議題3の豊橋市と田原市の先進事例について、稲沢市では同様の取組みが難しいという説明がありましたが、どのような理由で困難なのか教えてください。

事務局 事業系ごみ処理量については、令和元年度の同期累計が4,296tでした。令和3年度は3,859tで、比較すると低い水準であることが分かります。資源化量については、行政回収分が、令和元年度1,907t、令和3年度1,854tでした。集団回収は、令和元年度で586t、令和3年度357tで、いずれもコロナ禍前と比較すると低い数値であることが分かります。一方でプラスチック製容器包装については、令和元年度933t、令和3年度935tで、こちらはコロナ禍前の水準に戻ってきています。

2市の事例はいずれも本市の既存の施設・設備では実施が困難なものでございます。新規で大型の施設を整備するというのも、やはり難しい実情がありますので、実現可能性が高い事例を参考とし、優先的に取組んでまいりたいと考えております。

桑山委員 資源回収場所について、雑がみを置く場所が分かりづらいつ感じています。改善は難しいでしょうか。

事務局 地域の集積場所についてはご地元で管理していただいているところですが、地域によっ

て案内看板を掲げる等様々な工夫をされているようです。市でそういった看板のご用意はありませんが、ラミネート加工程度の案内表示なら区長様からのお申し出に応じて作成できますので、お気軽にご相談いただければと思います。

小久保委員 先日、地域の方からフードパントリーの開催チラシをいただきました。QRコードを活用するなど、周知方法に工夫をされているようです。広報は年配の方は目を通されやすい一方、若い方の目には触れにくいということを感じています。スマートフォンで手軽に見られるような広報が効果的ではないでしょうか。若い方の目に触れやすい周知方法を採用することで、ごみの減量も進んでいくのではないかと思います。

部長 フードドライブについて、資源対策課は年間600万tといわれる食品ロスの削減、社会福祉協議会は食料支援という異なる立ち位置の中、協力して実施しているところです。また現在、子育て支援課と協力した子ども服リユース事業の実施検討や高齢介護課と連携したふれあい収集事業も進めており、そういった形で他課の協力も得ながら、QRコード等も活用した広報を実施し、効果的な事業を手掛けてまいりたいと思います。

山森委員 フードドライブについて、開催期間中は多忙のため持込みが困難です。期間外でも受入れてくれるところはあるのでしょうか。

事務局 一宮市にありますNPO法人ののわみ相談所や名古屋市にありますセカンドハーベスト名古屋であれば、倉庫等の設備が整っているため、常時受入れをしていただけるものと思います。

岩田副会長 カラス被害がひどく、対策に苦心しています。ごみ防護ネットがあっても、ネットの外に出す人がいたり、隙間から突かれたりと被害が絶えず、何かよい方法はないでしょうか。

事務局 市では、ごみ防護ネットに取り付けるおもりを配布しています。取り付けることで、カラスが侵入する隙間ができにくくなるため、ご活用いただければと思います。

事務局 ご審議ありがとうございました。これもちまして本日の会議は終了させていただきます。皆さまのご協力ありがとうございました。

<午後2時52分> ●閉会